



2024年8月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年10月11日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社マルマエ
コード番号 6264 URL <https://www.marumae.com/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 前田 俊一
問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長 (氏名) 下舞 毅 TEL 0996-68-1140
定時株主総会開催予定日 2024年11月22日 配当支払開始予定日 2024年11月25日
有価証券報告書提出予定日 2024年11月25日
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有（機関投資家向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2024年8月期の業績（2023年9月1日～2024年8月31日）

(1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年8月期	4,749	△30.9	156	△81.8	42	△94.6	19	△97.2
2023年8月期	6,868	△20.0	859	△63.6	789	△66.7	706	△61.1

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年8月期	1.55	—	0.3	0.4	3.3
2023年8月期	55.92	—	9.6	6.5	12.5

(参考) 持分法投資損益 2024年8月期 一百万円 2023年8月期 一百万円

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年8月期	11,464	7,163	62.5	566.10
2023年8月期	11,612	7,473	64.4	591.25

(参考) 自己資本 2024年8月期 7,163百万円 2023年8月期 7,473百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年8月期	431	△504	△395	3,028
2023年8月期	2,252	△1,489	△286	3,496

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭			
2023年8月期	—	18.00	—	18.00	36.00	455	64.4	6.2
2024年8月期	—	10.00	—	20.00	30.00	379	1,935.5	5.2
2025年8月期(予想)	—	15.00	—	15.00	30.00	—	—	—

3. 2025年8月期の業績予想（2024年9月1日～2025年8月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,650	78.9	700	—	650	—	462	—	36.51
通期	7,600	60.0	1,600	922.2	1,500	—	1,065	—	84.16

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(2) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2024年8月期	13,053,000株	2023年8月期	13,053,000株
2024年8月期	399,162株	2023年8月期	412,494株
2024年8月期	12,649,248株	2023年8月期	12,635,790株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると断定する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっては、添付資料2ページ「1. 経営成績・財務状態に関する分析 (1) 経営成績に関する分析」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績・財務状態に関する分析	2
(1) 経営成績に関する分析	2
(2) 財政状態に関する分析	2
(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	3
2. 企業集団の状況	3
3. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
4. 財務諸表及び主な注記	4
(1) 貸借対照表	4
(2) 損益計算書	6
(3) 株主資本等変動計算書	8
(4) キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(表示方法の変更)	10
(持分法損益等)	10
(セグメント情報等の注記)	11
(1株当たり情報)	13
(重要な後発事象)	13
5. その他	14
(1) 役員の異動	14
(2) 生産、受注及び販売の状況	14

1. 経営成績・財務状態に関する分析

(1) 経営成績に関する分析

(当期の経営成績)

当事業年度におけるわが国経済は、欧米における高い金利水準の継続など海外景気の下振れリスクがある一方、日本国内の雇用・所得環境が改善するなど、一部に足踏みが残るものの景気は緩やかに改善いたしました。

当社の主な販売分野である半導体分野におきましては、AI用途の需要拡大を背景にロジックファウンドリやDRAM向けの設備投資が活発に行われる一方、NAND向けやMPU向けの設備投資は停滞いたしました。また、中国向けの設備投資は活況が続きました。なお、半導体製造装置市場の改善が見られ始めるとともに、部品在庫の改善の動きも顕著になりました。

FPD分野におきましても、液晶向け設備投資の停滞が続く一方で、IT機器向けのG8 OLED設備投資が拡大し始めました。

このような市場環境のもと、半導体分野では上期は在庫調整の影響もあって受注の低迷が続きましたが、期末にかけては在庫調整の進展及び、新規顧客からの受注拡大に伴って受注は急改善しました。

FPD分野では、EBWを活用し、急拡大し始めたG8 OLED向けの受注を活発化いたしました。

その他分野におきましては、太陽電池製造装置部品の引き合いはありながらも受注には至りませんでした。

費用面につきましては、市場の停滞が長引いたことから第3四半期まで設備投資と人員採用を抑制したこと、及び受注残の増加に伴う棚卸の増加があったことによって製造費用は低減されました。また、稼働率の改善に伴い受注損失引当金及び棚卸評価損が46百万円減少いたしました。なお、2024年9月12日に公表いたしました見通しに対して、100万円程度税金費用が増加いたしました。これは決算作業で繰延税金資産の回収可能性を検討した結果、スケジュール不能なものについて取崩しが発生したことに加え、税効果会計適用後の法人税等の負担率が法定実行税率を上回ったことが要因です。

これらの結果、当事業年度の業績は、売上高が4,749百万円(前年同期比30.9%減)、営業利益は156百万円(前年同期比81.8%減)、経常利益は42百万円(前年同期比94.6%減)、当期純利益は19百万円(前年同期比97.2%減)となりました。

なお、当社は精密部品事業のみの単一セグメントであるため、セグメントごとの記載を省略しております。

(次期の見通し)

当社の主な販売分野である半導体分野におきましては、AI需要の活況に関連しロジックファウンドリやDRAM向けの設備投資が継続しながら、NAND向けの投資も再開していく見通しを持っております。FPD分野におきましては、G8 OLED向けの設備投資が急拡大しており、暫くは継続する見通しを持っております。

その他分野におきましては、太陽電池向けの引き合いは継続しておりますが、中国の市場環境が不透明であることから予算には織り込まない方針といたしました。

設備投資につきましては、全社的な工場稼働率には余裕が残りながらも、一部の生産設備においてひっ迫し始めているため、投資の再開を行っております。また、社員食堂などの従業員満足度向上に資する投資や自社消費太陽光パネルの投資も計画しております。費用につきましては、製造の減価償却費は前期より若干増加する8.68億円を見込んでおります。また、労務費につきましては、給与水準の向上と採用の拡大、業績連動賞与の増加等により16.08億円へと増加する見通しです。販売管理費につきましては、人件費の増加等により8億円を想定しております。

以上の状況から、次期見通しにつきましては、売上高は7,600百万円、営業利益は1,600百万円、経常利益は1,500百万円、当期純利益は1,065百万円を予想しております。

(2) 財政状態に関する分析

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当事業年度末の総資産は、前事業年度末に比べて147百万円減少し、11,464百万円となりました。

流動資産は、前事業年度末に比べて123百万円増加し、5,572百万円となりました。これは主に第4四半期の売上高増加に伴う売掛金の増加(前事業年度差451百万円増)、電子記録債権の増加(同157百万円増)、棚卸資産の増加(同13百万円増)等によるものであります。

固定資産は、前事業年度末に比べて271百万円減少し、5,891百万円となりました。これは主に機械及び装置の減少(同632百万円減)、建物の減少(同90百万円減)、建設仮勘定の増加(同427百万円増)等によるものであります。

(負債)

当事業年度の負債総額は、前事業年度末に比べて162百万円増加し、4,300百万円となりました。

流動負債は、前事業年度末に比べて182百万円増加し、1,348百万円となりました。これは主に未払金の増加(同136百万円増)、買掛金の増加(同86百万円増)、前受金の減少(同58百万円減)等によるものであります。

固定負債は、前事業年度末に比べて20百万円減少し、2,952百万円となりました。これは主に長期借入金の減少(同26百万円減)、退職給付引当金の増加(同10百万円増)等によるものであります。

(純資産)

当事業年度末の純資産合計は、前事業年度末に比べて310百万円減少し、7,163百万円となりました。

これは主に、配当金354百万円の支払いに対し、当期純利益19百万円の計上により利益剰余金が334百万円減少、自

己株式の処分等により17百万円増加したことによるものであり、この結果、自己資本比率の割合は62.5%（前事業年度は64.4%）となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当事業年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、3,028百万円となり、前事業年度末と比較して468百万円減少しております。

主な要因は、営業活動によって獲得した431百万円のキャッシュ・フロー及び、有形固定資産の取得等を行った投資活動によって支出した504百万円のキャッシュ・フロー並びに長期借入金の返済等の財務活動により支出した395百万円のキャッシュ・フローによるものであります。

当事業年度における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果獲得した資金は、431百万円（前年同期は2,252百万円の獲得）となりました。これは主に税引前当期純利益42百万円、減価償却費948百万円を計上したこと、売上債権の増加による資金の減少600百万円、棚卸資産の増加による資金の減少13百万円、その他流動資産の増加113百万円、法人税等の支払額154百万円、仕入債務の増加86百万円等があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、504百万円（前年同期は1,489百万円の使用）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出500百万円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、395百万円（前年同期は286百万円の使用）となりました。これは長期借入れによる収入600百万円、長期借入金の返済による支出637百万円、配当金の支払額353百万円等によるものであります。

（参考）キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2020年 8月期	2021年 8月期	2022年 8月期	2023年 8月期	2024年 8月期
自己資本比率（%）	64.2	64.9	58.1	64.4	62.5
時価ベースの自己資本比率（%）	127.4	263.3	209.2	196.7	170.3
キャッシュ・フロー対有利子負債比率（年）	2.0	2.2	1.5	1.6	8.1
インタレスト・カバレッジ・レシオ（倍）	66.3	65.2	108.8	95.6	18.6

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

（注）1. 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式総数をベースに計算しております。

2. キャッシュ・フローは、営業活動キャッシュ・フローを利用しております。

3. 有利子負債は貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。

（3）利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、株主の皆様に対する利益還元につきましては、重要な経営施策の一つとして位置づけています。

今後の利益配分に関しましては、長期的な視野に立った投資の実施とともに、経営成績及び財務状況を勘案しつつ、収益性に基づく利益配分を目指し、配当金の計算は、配当性向の考えを取り入れております。なお、中期的な配当性向の目途といたしましては、現中期事業計画の期間中（2023年8月期から2026年8月期）は、35%以上を目途とすることを目標としております。また、最終損益で損失を計上しない限りは、通年で最低20円（最低中間10円、期末10円）の安定配当を行う方針としております。

また、次期につきましては、中間配当15円、期末配当15円の合計30円を予定しております。

2. 企業集団の状況

当社は、子会社及び関連会社を有しておりませんので、該当事項はありません。

3. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は連結財務諸表を作成していないため、国際会計基準に基づく財務諸表を作成するための体制整備の負担等を考慮し、日本基準に基づき財務諸表を作成しております。

4. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年8月31日)	当事業年度 (2024年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,496,246	3,028,196
売掛金	467,109	918,641
電子記録債権	515,384	673,175
製品	15,583	21,767
仕掛品	769,950	771,309
原材料及び貯蔵品	27,502	33,635
前払費用	23,779	22,916
その他	134,920	106,026
貸倒引当金	△2,085	△3,343
流動資産合計	5,448,393	5,572,325
固定資産		
有形固定資産		
建物	2,546,328	2,584,078
減価償却累計額	△790,423	△918,413
建物(純額)	1,755,905	1,665,664
構築物	188,604	203,574
減価償却累計額	△88,532	△100,885
構築物(純額)	100,071	102,689
機械及び装置	8,154,112	8,261,809
減価償却累計額	△4,882,816	△5,622,877
機械及び装置(純額)	3,271,296	2,638,932
車両運搬具	108,606	115,110
減価償却累計額	△103,357	△107,357
車両運搬具(純額)	5,248	7,753
工具、器具及び備品	72,213	79,012
減価償却累計額	△57,184	△63,566
工具、器具及び備品(純額)	15,028	15,445
土地	782,004	788,067
リース資産	30,006	30,006
減価償却累計額	△7,958	△12,419
リース資産(純額)	22,048	17,586
建設仮勘定	6,190	434,081
有形固定資産合計	5,957,794	5,670,220
無形固定資産		
ソフトウェア	23,238	13,083
特許権	3,047	2,638
商標権	—	767
無形固定資産合計	26,285	16,489

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年8月31日)	当事業年度 (2024年8月31日)
投資その他の資産		
投資有価証券	7,000	7,000
出資金	101	101
長期前払費用	—	164
繰延税金資産	171,760	197,220
その他	690	695
投資その他の資産合計	179,551	205,180
固定資産合計	6,163,631	5,891,889
資産合計	11,612,024	11,464,215
負債の部		
流動負債		
買掛金	188,585	274,997
1年内返済予定の長期借入金	607,132	596,030
リース債務	4,352	4,430
未払金	51,941	188,606
未払費用	141,966	163,128
前受金	82,966	24,581
預り金	14,206	27,419
前受収益	245	1,133
受注損失引当金	29,500	28,700
株式報酬引当金	24,000	12,000
その他	20,249	27,044
流動負債合計	1,165,146	1,348,071
固定負債		
長期借入金	2,889,550	2,863,520
長期リース債務	17,990	13,559
退職給付引当金	59,871	70,691
資産除去債務	1,069	1,069
受入保証金	2,700	2,700
その他	1,934	1,315
固定負債合計	2,973,116	2,952,856
負債合計	4,138,263	4,300,928
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,241,157	1,241,157
資本剰余金		
資本準備金	1,125,157	1,125,157
その他資本剰余金		
自己株式処分差益	831,699	838,226
資本剰余金合計	1,956,856	1,963,384
利益剰余金		
利益準備金	14,112	14,112
その他利益剰余金		
圧縮積立金	3,961	—
繰越利益剰余金	4,798,280	4,467,767
利益剰余金合計	4,816,354	4,481,880
自己株式	△540,607	△523,134
株主資本合計	7,473,761	7,163,287
純資産合計	7,473,761	7,163,287
負債純資産合計	11,612,024	11,464,215

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)	当事業年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)
売上高	6,868,463	4,749,003
売上原価		
製品期首棚卸高	16,152	15,583
当期製品製造原価	5,342,315	3,953,672
合計	5,358,468	3,969,255
他勘定振替高	75,843	47,623
賃貸原価	17,949	17,005
製品期末棚卸高	15,583	21,767
売上原価	5,284,990	3,916,870
売上総利益	1,583,472	832,133
販売費及び一般管理費		
役員報酬	114,445	97,627
給料及び手当	184,106	198,075
退職給付費用	2,185	2,195
株式報酬費用	31,997	12,000
減価償却費	23,825	22,265
支払手数料	84,446	92,862
租税公課	41,940	27,407
貸倒引当金繰入額	△3,156	1,258
研究開発費	84,498	55,053
その他	159,696	166,869
販売費及び一般管理費合計	723,986	675,613
営業利益	859,486	156,519
営業外収益		
受取利息	125	349
受取配当金	1	1
為替差益	5,250	—
受取手数料	1,358	1,975
受取保険金	6,747	3,329
業務受託料	14,283	—
スクラップ売却益	4,695	1,967
その他	2,278	2,451
営業外収益合計	34,740	10,075
営業外費用		
支払利息	23,570	23,198
為替差損	—	2,296
減価償却費	70,932	97,022
その他	10,611	1,207
営業外費用合計	105,114	123,724
経常利益	789,112	42,870
特別利益		
補助金収入	211,037	—
固定資産売却益	—	66
特別利益合計	211,037	66
特別損失		
減損損失	2,280	—
固定資産除却損	211	0
特別損失合計	2,491	0
税引前当期純利益	997,658	42,937
法人税、住民税及び事業税	306,992	48,803
法人税等調整額	△15,914	△25,459
法人税等合計	291,077	23,343
当期純利益	706,580	19,593

製造原価明細書

区分	注記 番号	前事業年度 (自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)		当事業年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)	
		金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)
I 材料費		1,140,943	22.4	788,157	19.9
II 労務費		1,475,987	29.0	1,297,445	32.8
III 経費		2,468,020	48.5	1,869,427	47.3
当期総製造費用	※	5,084,951	100.0	3,955,030	100.0
期首仕掛品棚卸高		1,027,314		769,950	
合計		6,112,266		4,724,981	
期末仕掛品棚卸高		769,950		771,309	
当期製品製造原価		5,342,315		3,953,672	

原価計算の方法

原価計算の方法は、個別原価計算によっております。

(注) ※ 主な内訳は次のとおりであります。

項目	前事業年度 (自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)	当事業年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)
外注加工費 (千円)	853,736	509,071
減価償却費 (千円)	927,838	811,984
受注損失引当金繰入額 (千円)	△2,700	△800

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)

(単位:千円)

	株主資本										純資産計 合 計
	資本金	資本 剰余金			利益 準備金	利益剰余金			自己 株式	株主資本 合計	
		資本準 備金	その他資 本剰余金	資本 剰余金 合計		その他利益剰余金	利益 剰余金 合計				
					圧縮 積立金	繰越利益 剰余金					
当期首残高	1,241,157	1,125,157	825,530	1,950,687	14,112	7,923	4,643,567	4,665,603	△558,359	7,299,089	7,299,089
当期変動額											
剰余金の配当							△555,829	△555,829		△555,829	△555,829
圧縮積立金の取崩						△3,961	3,961	-		-	-
当期純利益							706,580	706,580		706,580	706,580
自己株式の取得									△76	△76	△76
自己株式の処分			6,168	6,168					17,828	23,997	23,997
当期変動額合計	-	-	6,168	6,168	-	△3,961	154,712	150,750	17,752	174,671	174,671
当期末残高	1,241,157	1,125,157	831,699	1,956,856	14,112	3,961	4,798,280	4,816,354	△540,607	7,473,761	7,473,761

当事業年度(自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)

(単位:千円)

	株主資本										純資産計 合 計
	資本金	資本 剰余金			利益 準備金	利益剰余金			自己 株式	株主資本 合計	
		資本準 備金	その他資 本剰余金	資本 剰余金 合計		その他利益剰余金	利益 剰余金 合計				
					圧縮 積立金	繰越利益 剰余金					
当期首残高	1,241,157	1,125,157	831,699	1,956,856	14,112	3,961	4,798,280	4,816,354	△540,607	7,473,761	7,473,761
当期変動額											
剰余金の配当							△354,067	△354,067		△354,067	△354,067
圧縮積立金の取崩						△3,961	3,961	-		-	-
当期純利益							19,593	19,593		19,593	19,593
自己株式の処分			6,527	6,527					17,472	24,000	24,000
当期変動額合計	-	-	6,527	6,527	-	△3,961	△330,512	△334,473	17,472	△310,473	△310,473
当期末残高	1,241,157	1,125,157	838,226	1,963,384	14,112	-	4,467,767	4,481,880	△523,134	7,163,287	7,163,287

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)	当事業年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	997,658	42,937
減価償却費	1,040,546	948,276
減損損失	2,280	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△3,156	1,258
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	△2,700	△800
株式報酬引当金の増減額 (△は減少)	31,997	12,000
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	11,692	10,819
受取利息及び受取配当金	△126	△350
受取保険金	△6,747	△3,329
支払利息	23,570	23,198
為替差損益 (△は益)	△8,407	474
固定資産売却益	—	△66
固定資産除却損	211	0
売上債権の増減額 (△は増加)	1,506,458	△600,259
棚卸資産の増減額 (△は増加)	249,686	△13,675
仕入債務の増減額 (△は減少)	△143,386	86,411
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△93,286	5,831
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△112,218	113,345
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△410,483	2,488
その他	3,350	△39,649
小計	3,086,938	588,910
利息及び配当金の受取額	126	350
利息の支払額	△23,931	△23,467
保険金の受取額	6,747	3,329
法人税等の還付額	—	17,563
法人税等の支払額	△817,635	△154,914
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,252,246	431,772
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,484,537	△500,961
有形固定資産の売却による収入	—	66
無形固定資産の取得による支出	△4,974	△3,377
出資金の回収による収入	10	—
差入保証金の差入による支出	—	△5
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,489,501	△504,277
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	900,000	600,000
長期借入金の返済による支出	△627,012	△637,132
自己株式の取得による支出	△76	—
配当金の支払額	△555,336	△353,508
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△4,276	△4,430
財務活動によるキャッシュ・フロー	△286,701	△395,071
現金及び現金同等物に係る換算差額	8,407	△474
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	484,451	△468,050
現金及び現金同等物の期首残高	3,011,795	3,496,246
現金及び現金同等物の期末残高	3,496,246	3,028,196

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

(損益計算書)

前事業年度において、「営業外収益」の「その他」に表示しておりました「受取手数料」は、営業外収益の100分の10を超えたため、当事業年度より区分掲記することとしました。この表示方法の変更を反映させるため、前事業年度の財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前事業年度の損益計算書において、「営業外収益」の「その他」に表示していた3,636千円は、「受取手数料」1,358千円、「その他」2,278千円として組み替えております。

(持分法損益等)

前事業年度(自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)

該当事項はありません。

当事業年度(自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前事業年度(自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)

当社は、精密部品事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当事業年度(自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)

当社は、精密部品事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

【関連情報】

前事業年度(自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

当社は、単一セグメントであり、区分すべき製品及びサービスの区分が存在しないため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の氏名又は名称	売上高	関連するセグメント名
日本発条株式会社	2,104,807	精密部品事業
コアテクノロジー株式会社	1,355,126	精密部品事業
東京エレクトロン宮城株式会社	1,202,309	精密部品事業

当事業年度(自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

当社は、単一セグメントであり、区分すべき製品及びサービスの区分が存在しないため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の氏名又は名称	売上高	関連するセグメント名
日本発条株式会社	1,365,601	精密部品事業
東京エレクトロン宮城株式会社	768,397	精密部品事業
東京エレクトロン テクノロジーソリューションズ株式会社	681,316	精密部品事業

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前事業年度(自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)

当社は、単一セグメントであるため、報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報の記載を省略しております。

当事業年度(自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)

当社は、単一セグメントであるため、報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報の記載を省略しております。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前事業年度(自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)

該当事項はありません。

当事業年度(自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前事業年度(自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)

該当事項はありません。

当事業年度(自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

項目	前事業年度 (自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)	当事業年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)
1株当たり純資産額	591円25銭	566円10銭
1株当たり当期純利益金額	55円92銭	1円55銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額は、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前事業年度 (自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)	当事業年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)
当期純利益金額(千円)	706,580	19,593
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益金額(千円)	706,580	19,593
期中平均株式数(株)	12,635,790	12,649,248

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

(開示の省略)

重要な会計方針、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書、キャッシュ・フロー計算書、金融商品、有価証券、退職給付、税効果会計、資産除去債務、関連当事者情報に関する注記事項については、決算短信における開示の重要性が大きくないと考えられるため開示を省略しております。

5. その他

(1) 役員の異動

該当事項はありません。

(2) 生産、受注及び販売の実績

①生産実績

当事業年度の生産実績を製品分野別に示すと、次のとおりであります。

製品分野別の名称	生産高(千円)	前年同期比(%)
半導体製造装置関連部品	3,641,856	79.2
F P D製造装置関連部品	1,011,686	130.6
その他	41,902	3.0
合計	4,695,445	69.6

(注) 金額は販売価格によっております。

②受注状況

当事業年度の受注実績を製品分野別に示すと、次のとおりであります。

製品分野別の名称	受注高(千円)	前年同期比(%)	受注残高(千円)	前年同期比(%)
半導体製造装置関連部品	3,794,254	113.4	894,712	135.7
F P D製造装置関連部品	1,314,810	172.6	739,610	170.6
その他	88,347	8.3	54,584	670.6
合計	5,197,411	100.6	1,688,908	153.4

(注) 金額は販売価格によっております。

③販売実績

当事業年度の販売実績を製品分野別に示すと、次のとおりであります。

製品分野別の名称	販売高(千円)	前年同期比(%)
半導体製造装置関連部品	3,558,923	78.5
F P D製造装置関連部品	1,008,736	130.2
その他	181,343	11.6
合計	4,749,003	69.1